

興津・志和地域 防災便り 第11号

2011(平成23)年1月20日

興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
志和地区自主防災組織

興津地域ぐるみ学校安全体制 推進委員会のスタート！！ 防災キャンプ・防災授業（土砂 災害）に取り組みました。



興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会を中心に組み組んできた防災の意識向上に「内閣総理大臣表彰」をいただきました。
興津での地域ぐるみの活動が認められた結果だと思います。

今後も、災害に強い地域づくりの取り組みが、地域の皆様方の協力のもと、より一層進められていくことを強く願っています。

第1回の推進委員会は、平成22年7月29日に開催しました。他の会合と重なっていたため、何人かの委員のみなさんは参加できませんでしたが無事開催することができました。

今年のテーマは、「地域ぐるみ」文字通り地域のみなさんに防災授業に参加してもらえるようにご案内すること、開かれた学校づくりにもご協力・ご支援いただきたいことをお願いしました。



興津小防災 キャンプ

8月5日～6日に3～6年生が参加して、防災

キャンプを実施しました。あいにく、前日までの雨のために運動場の状態が悪く体育館の中にテントを張って防災キャンプが始まりました。子どもたちは、上級生が手本となって自分たちでテントを組み上げていきました。地元の消防団第1分団～第3分団のみなさんが、消防活動のお話や、消防車への乗車、体験放水をさせてくれました。貴重な体験とお話で参加者全員が大変勉強になりました。

晩御飯は、みんなで調理です。カレーを作るチーム、飯盒でご飯を炊くチームと分かれて汗を流しました。大総代が試食に来てくれました。「なかなかうまい！」と好評でした。

夜間には、忠霊塔の避難場所への夜間避難訓練をしました。2人組での避難は、ドキドキものでしたが、第3分団長の応援のもと怪我もなく無事終わることができました。



1泊2日の防災キャンプは、実際の災害時に生きていくための方法を学び、消防団のみなさんの仕事内容や地域の方とのふれあい、保護者のみなさんのご理解で続けることができる活動です。今後もよろしくお願いします。

舞子高校の視察

兵庫県の舞子高校防災科の先生方が、興津地域の防災の取り組みを視察に来て下さいました。四万十町としての取り組み、地域の取り組み、学校の取り組みを防災担当・浦分総代・興津小で説明させていただきました。その後、地域視察に行かれました。



「土砂災害に対する教育プログラム」

の2年目の取り組みがはじまりました



興津小の防災教育の取り組みに注目し

た、国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）、京都大学、筑波大学の先生方と連携した「土砂災害に関する教育プログラム」に基づく授業（2年目）が始まりました。今年は、推進委員さんを中心に地域の方に参加していただくことを目標にご案内をさせていただきました。

第1回目授業は、平成22年10月4日(月)に実施しました。

国土交通省・国土技術政策総合研究所・危機管理技術研究センター



さぼう研究室、京都大学交通行動システム研究室・筑波大学 リスク工学専攻 公共心理学研究室と共同で土砂災害の授業が始まりました。

クロスロードゲーム

（2つの意見をあげて、どちらを選択するのか）で、朝4時に聞いたことのないようなすごい雨音がしています。

町内放送もあったような気がします。

「あなたは、親を起こしますか？」というような質問に答えていきました。

3Dで見える興津の写真を見ながら、「がけ」や「谷」を探して土砂災害の危険箇所をチェックして、フィールドワークを行いました。

報道各社も取材に来てくれて、子どもたちの真剣に取り組む様子がテレビでも放送されました。



防災授業2～4回目へとつづく